

# 米と麦の品質を保つ。 そして収穫の喜びを食卓へ。

吹きすさぶ寒風に耐えて実を結んだ小麦。猛暑や台風を乗り越えてこうべを垂れる稲穂……。

日本の食を支える穀物は、農家の丹念なサポートを受けて黄金に色づく。

食卓を囲む笑顔のため、農家は厳しい自然環境と日々向き合う。

小麦は初夏、米は秋、収穫の時期は限られるが、食事は毎日。

食料の安定供給、それが私たちの使命。

高い品質を保つには、適切に管理・貯蔵し、安定的に消費者に届けることが必要。

その仕事を担うのが、カントリーエレベーター。

荷受前には設備をきれいに清掃して異物の混入を避けるほか、作物が病気になるか確認したり、等級を検査したり……。

そして安全・安心で適切な穀物の流通を支える。

収穫の喜びや農家の想いを食卓につなぐ。それもカントリーエレベーターの仕事。

カントリーエレベーターは、穀物の乾燥、調製、貯蔵、出荷を請け負うJAの施設。

農家の負担を軽減し、生産に打ち込めるようになる。それが美しい田園風景を形作る。

日本の豊かな食を地域の農家とともに支え、美しい風景を未来へ受け継ぐ。それが私たちの願い。



## 知って 納得JA

**Q** JAは、どうやって運営しているの？

**A** 総会や地区別座談会などを通じて、  
組合員自らが運営方針を決めています。

JAは、出資して、事業を利用する組合員が、自ら運営する協同組合です。JAの事業や運営の方針は、正組合員全員が集まって毎年開催する総会（また総代会）で決定します。

さらに、事業や運営に組合員の声を反映するため、多くの仕組みが設けられています。集落などを単位に地区別の座談会を開催し、JAの役職員と組合員が意見交換を行います。また、支所・支店では、運営委員会やふれあい委員会を組織し、支所・支店の運営や活動を行います。このほか、職員が組合員の自宅を訪問し、組合員や家族の声を聴く一斉訪問などを通じて、組合員による運営が行われています。



耕そう、大地と地域の未来。

JAグループ群馬